

東京大学 海外留学・国際交流プログラム報告書(3ヶ月以上1年未満)

2018年 11月 1日

東京大学での所属学部・研究科等:	工学系研究科	学年(プログラム開始時):	修士2
参加プログラム:	全学交換留学	派遣先大学:	ETH Zürich
卒業・修了後の就職(希望)先:			
	1. 研究職		2. 専門職(医師・法曹・会計士等)
	3. 公務員		4. 非営利団体
	✓ 5. 民間企業(業界: 建築設計)		6. 起業
	7. その他()		

派遣先大学の概要

ETH Zürichは1855年に創立された科学技術・自然科学を対象とした世界有数の工科大学です。建築設計の分野においても、ヨーロッパの第一線で活躍する建築家が多く集まり教鞭をとっている、ヨーロッパ屈指の教育機関です。

留学した動機

建築の歴史や文化から学ぶことに重きを置いた建築設計の多様な取り組みと蓄積に興味があったため、ヨーロッパで学びたいと思ったのがきっかけです。

留学の時期など

①留学前の本学での修学状況:	2017年	修士1	年生の	冬	学期まで履修
②留学中の学籍:	留学				
③留学期間等:	2017年	9月~	2018年	8月	
	修士2	年時に出発			
④留学後の授業履修:	2019年	修士2	年生の	夏	学期から履修開始
⑤就職活動の時期:	2019年	修士2	年生の	8月頃に	行う予定
⑥本学での単位数:	留学前の取得単位		16	単位	
	留学先で取得し、本学で単位認定申請を行う単位		0	単位	
	留学後の取得(予定)単位		8	単位	
⑦入学・卒業/修了(予定)時期:	2017年	4月入学	2019年	9月卒業/修了	
⑧本学入学から卒業/修了までの期間:	3年		6ヶ月間		
⑨留学時期を決めた理由:					

留学については修士入学以前から考えていましたが、行き先については入学後に具体的に検討し始め、チューリッヒに行くこと決めてからは最短のタイミングでした。

留学準備

①留学先大学への入学手続き(手続きにあたってのアドバイスなど)

国際交流課を通して、期日に間に合うよう準備をしました。

②ビザの手続き(ビザの種類、申請先、手続きに要した時間、ビザ申請にあたってのアドバイスなど)

ビザに代わる滞在許可証は、渡航後問題なく取得できました。

③医療関係の準備(出発前の健康診断、常備薬、予防接種等)

健康診断に行き、よく行く病院には予備の薬を多めに出示してもらいました。

④保険関係の準備(加入した海外旅行傷害保険・留学保険等)

全学交換留学で加入の義務づけられている付帯海学に加え、現地でSwisscareの学生パックに加入しました。免除申請が受け入れられる場合もあるそうです。

⑤留学にあたって東京大学の所属学部・研究科(教育部)で行った手続きなど(履修・単位・試験・論文提出等に関して)

留学前に休学をしていたので復学の手続きをしました。留学後のインターン期間は再度休学しました。

⑥語学関係の準備(出発前の語学レベル・語学学習等)

英語はある程度話せたので、ドイツ語の基礎を勉強しました。

⑦日本から持参した方がよいもの、その他出発前にやっておくべきこと・アドバイスなど

寒い冬はコートの下にウルトラライトダウンを重ねて乗り切りました。

学習・研究について

①履修した授業科目のリスト(授業を履修した場合)

※そのうち、帰国後東京大学で単位認定の申請を行ったもの(又は行う予定のもの)に●をつけてください。

授業科目名	単位数	単位認定の申請	授業科目名	単位数	単位認定の申請
Architectural Design V-IX: Back to Moscow - Searching of Architectural Chronotope (GD A. Brodskiy)	14		Research in History and Theory of Architecture: Italian Modern 194X-198X (PhD Teaching)	2	
Architectural Design V-IX: Describing Beauty (A.Caruso)	14		Seminarwoche Frühjahrssemester 2018	2	
Architecture and Photography	2		Seminarwoche Herbstsemester 2017	2	
Modell und Gestaltung	2				

②留学中の学習・研究の概要(授業・予習・復習のスタイル、印象に残っている授業等)

建築学科のカリキュラムは設計スタジオに重点が置かれて構成されていたため、学校生活の大半をスタジオでの制作が占めました。スタジオでは各々スタジオのテーマに沿ってリサーチ・制作を行うなか、週一回教授やアシスタントとプレゼン形式の指導があり、学期末には外部に開かれた最終発表があります。他には特化型の建築史や写真演習、模型製作などを受講しました。他にも日本の建築学科ではあまり見られない領域横断的で面白そうな授業が数多くありました。

③1学期あたりの履修科目・単位数、週あたりの学習・研究時間(授業時間・授業以外の学習時間)など

各学期20単位を目安に受講しました。平日はほとんど毎日スタジオに行きました。

④学習・研究面でのアドバイス

やりたいと思ったことや環境を生かすことについては貪欲になって良いと思います。交換留学生は履修における優先順位が低かったり、語学面だったり、制約を感じることもあるかもしれませんが、例えば希望スタジオの抽選に漏れてもポートフォリオをもって直談判しに行くなど、ちょっとしたことでも思い切ることで道が開けることが何度もありました。

⑤語学面での苦勞・アドバイス等

スイスは公用語が4つあるからか、チューリッヒにいる人の語学能力は総じて高く、3-4ヶ国語を流暢に話す人だらけで圧倒されました。でも逆に、皆が英語を話せる上、修士の授業の使用言語は基本的に英語なので、それでしっかりコミュニケーションできれば困ることはほとんどないです。

生活について

①宿泊先(種類(寮・ホームステイ・ルームシェア等)、家賃、宿舎の様子、見つけた方法など)

留学中はWOKOを通じて月500フランほどの学生寮に住んでいました。そのあとはスイス人の友人たちと月700フランでハウスシェアをしました。いずれも綺麗で快適でした。

②生活環境(気候、大学周辺の様子、交通機関、食事、お金の管理方法(海外送金・クレジットカード)など)

チューリッヒは町の中心に湖や川といった自然があり、山に囲まれ、遠くにはアルプスが見えるという環境の良さで、どの季節も心地よく過ごせました。年間の公共交通機関パスを買い、現地に銀行口座を開きました。

③危機管理関係(留学先の治安、医療機関の事情、心身の健康管理で気をつけた点など)

治安は東京かそれ以上に良いかもしれません。軽い怪我で病院に行った際は日本で加入した付帯海学に連絡したらスムーズでした。

④留学に要した費用について(航空賃、授業料、教科書代、家賃、食費、交通費、娯楽費などの概算)

・毎月の生活費とその内訳

15-20万円ほどで、割合は大きい順に家賃、食費、娯楽・旅行費、その他だと思います。

・留学に要した費用総額とその内訳

8ヶ月間の留学期間でおおよそ200万円くらいかと思います。各月の生活費、渡航費、初期費用などです。

⑤奨学金(受給していた場合は、支給機関・支給額・見つけた方法など)

先輩から教えていただいた、文科省が展開するトビタテ奨学金を受給していました。支給額は月16万円+準備金25万円です。

⑥学習・研究以外の活動(スポーツ・文化活動、ボランティア・インターン、週末や長期休暇の過ごし方など)

留学期間終了後もチューリッヒに残り、スタジオで指導を受けた教授の事務所でインターンシップを行なっています。

派遣先大学の環境について

①留学生へのサポート体制(語学面・学習面・生活面・精神面でのサポート等)

特段サポートが必要なことはありませんでしたが、事務の方々はいつも親切でした。

②大学の設備(図書館・スポーツ施設・食堂・PC環境等)

図書館は充実しており、プリンター・プロッター・レーザーカッター・木工房など建築学科の設備もとても便利でした。

留学と就職活動について

①(就職活動を既に行った場合)留学が就職活動に与えた影響、メリット・デメリットなど

就活期間の限られる企業への就職を考えていなかったため、デメリットはありませんでした。

②(今後就職活動を行う場合)留学が就職に対する考え方に与えた影響

インターンシップの際に働き方について考えさせられました。日本で小規模な設計事務所で働いた経験があったので、こちらの比較的大きな事務所で働く経験との比較を通して、労働環境や生活とやりがいのバランス、チームワークの意義、社会や経済への関わり方などをリアルに考えられるようになりました。

③留学中の就職活動への対策など(もしあれば)

職種・国籍を問わずたくさんの人と話すと思います。

④就職が決まっている場合は、差し支えない範囲で就職先をお知らせください

- | | |
|--|--------------------------|
| | 1. 研究職 |
| | 2. 専門職(法曹・医師・会計士等)(職名:) |
| | 3. 公的機関(機関名:) |
| | 4. 非営利団体(団体名又は分野:) |
| | 5. 民間企業(企業名又は業界:) |
| | 6. 起業(分野:) |
| | 7. その他() |

留学を振り返って

① 留学の意義、留学を通じて成長したこと、その他留学を通じての所感

人との出会いが全てだったように思います。教授や友人たちからたくさんの知らなかったことを教わったり、考えたことのないようなことを考え議論したり、これまで言語化してこなかった感覚を共有したりといったことが掛け替えのない経験でした。

② 留学後の予定

帰国後は日本の建築設計業界で経験を積むつもりです。

③ 今後留学を考えている学生へのメッセージ・アドバイス

必要最低限のもの以外は、できるだけ身軽で行くと良いと思います。

その他

① 準備段階や留学中に役に立ったウェブサイト・出版物

準備段階や履修選択では留学先の学校の公式サイトや各スタジオのサイトを参考にしました。

② その他東京大学のホームページ・出版物等に掲載してよい留学中の写真があれば添付してください。